

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロジェクト制作4	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	マンガコース	開設期	後期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	随時資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	佐藤 敦弘		実務経験の有無・職種	有・マンガ家	
学習目的					
この科目では、マンガ業界を支える仕事の一つとして存在する、アシスタント業務に必要な技術と知識を現役プロアシスタントの指導により学びます。背景作画力の強化は、自身の作品のクオリティ向上のためだけでなく、卒業後における進路選択のバリエーション増やしていくことができます。現役プロアシスタントからは、現場での必須スキルや業界情報だけでなく、コミュニケーション能力の重要性についても説いていきます。					
到達目標					
この科目では、美術スタッフとして作家をサポートするアシスタントとして、業界で活躍することのできる技術と知識の習得を主目標とします。業界で働くことにおいて、技術だけでなく、コミュニケーション能力や、業界の動向に目を向けて常に研究を行っていく姿勢を磨くことも目標です。授業内で制作した背景作品を活用して、アシスタント募集に率先して応募を行う。					
教育方法等					
授業概要	作家としての道だけでなく、美術スタッフとして作家をサポートするアシスタントに必要な技術や考え方を養いつつ、技術の定着度を確認する検定をプロアシスタントの指導の下で行っていく。卒業後、デビューを目指す傍ら、業界内でマンガの技術を生かした仕事の一つとしてアシスタント業務に勤められるよう、講師や教員を作家と見立て、技術だけでなく要求に対し常に対応できるコミュニケーション能力も重要となります。またこの授業では卒業制作として、プロジェクトワーク7と連動し24Pマンガの制作を行う。				
注意点	制作方法はアナログ・デジタルどちらを使用しても構わない。アシスタントの知識として必要なことは、アナログ・デジタルを問わず必要であり、常にどちらにも応用が利くように確認を怠らないこと。この授業では疑似体験として、作家の下でアシスタント業務を行っている形をとるため、毎回の授業内では指示が出される上に、進捗状況の確認を行うため常に出席すること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	アシスタントスキル及び背景パースの理解度を評価する		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	敦弘先生アシスタント検定初級		木と森の背景の作画をする 卒業制作ネーム制作		
2回	敦弘先生アシスタント検定初級		木と森の背景の作画を提出 卒業制作ネーム制作		
3回	平野先生とコラボ講座①		アシスタントを模して、指定された背景の作画能力を確認する① 卒業制作ネーム制作		
4回	敦弘先生アシスタント検定中級		岩と荒地の背景の作画をする 卒業制作下描き制作		
5回	敦弘先生アシスタント検定中級		岩と荒地の背景の作画を提出 卒業制作下描き制作		
6回	敦弘先生アシスタント検定上級		アシスタントを模して、指定された背景の作画能力を確認する② 卒業制作下描き制作		
7回	敦弘先生アシスタント検定上級		アシスタントを模して、指定された背景の作画能力を確認する③ 卒業制作下描き制作		
8回	平野先生とコラボ講座②		絵柄の違う作家ごとに合わせた背景を作画する① 卒業制作ペン入れ制作		
9回	敦弘先生アシスタント検定上級		アシスタントを模して、指定された背景の作画能力を確認する④ 卒業制作ペン入れ制作		
10回	敦弘先生アシスタント検定上級		アシスタントを模して、指定された背景の作画能力を確認する⑤ 卒業制作ペン入れ制作		
11回	敦弘先生アシスタント検定上級		アシスタントを模して、指定された背景の作画能力を確認する⑥ 卒業制作仕上げ制作		
12回	敦弘先生アシスタント検定上級		アシスタントを模して、指定された背景の作画能力を確認する⑦ 卒業制作仕上げ制作		
13回	平野先生とコラボ講座③		絵柄の違う作家ごとに合わせた背景を作画する② 卒業制作仕上げ制作		
14回	卒業制作仕上げ		卒業制作完成〆切日		
15回	講評会		卒業制作の講評を含め、授業全体のまとめを行う		